

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	新規免疫化学療法時代における同種造血幹細胞移植後再発B細胞性急性リンパ性白血病の検討		
1.研究の目的と方法	同種造血幹細胞移植後に再発をした急性リンパ性白血病（ALL）は予後不良ですが、再発難治性のB細胞性ALLに対しては2018年よりベスポンサやビーリンサイトなどの新規免疫化学療法剤の使用が可能となりました。これらの新規薬剤導入前後での治療成績を比較することにより、移植後再発B細胞性ALLに対する最適な治療法の確立を目指すことが本研究の目的です。		
2.研究期間	倫理審査委員会承認日～2025年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	B細胞性ALLの患者さんで、2010年1月1日～2020年12月31日の間に附属病院にて初回の同種造血幹細胞移植を受け、その後再発した16歳以上の方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	患者基本情報(年齢・性別や各種移植情報)、移植合併症、予後(生死および最終生存確認日、再発の有無)、移植前の新規免疫化学療法使用の有無とその効果および有害事象。	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座
		氏名	田上 晋
	(2)試料・情報の 管理責任 者	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座 横山洋紀	
(3)共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	研究責任者 都立駒込病院血液内科 医長 清水啓明  研究参加施設 関東造血幹細胞移植共同研究グループ（KSGCT） 群馬県済生会前橋病院 白血病治療センター 高田覚 群馬大学医学部附属病院 血液内科 半田寛 埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 川井信孝 埼玉医科大学総合医療センター 血液内科 木村勇太		

	<p>自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 神田善伸  千葉大学医学部附属病院 血液内科 堺田恵美子  千葉市立青葉病院 血液内科 鐘野勝洋  成田赤十字病院 血液腫瘍科 青墳信之  東京大学医科学研究所附属病院 造血細胞移植チーム 高橋聡  都立駒込病院 血液内科 土岐典子  日本大学医学部附属板橋病院 血液・膠原病内科 八田善弘  慶應義塾大学医学部 血液内科 片岡圭亮  東京医科大学病院 血液内科 後藤守孝  東京女子医科大学病院 血液内科 田中淳司  東京医科歯科大学病院 血液内科 森毅彦  NTT 東日本関東病院 血液内科 臼杵憲祐  日本赤十字社医療センター 血液内科 塚田信弘  横浜市立大学医学部附属病院 リウマチ・血液・感染症内科 中島秀明  神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 金森平和  東海大学医学部附属病院 血液内科 鬼塚真仁  横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科 藤澤信  静岡赤十字病院 血液内科 田口淳  自治医科大学附属病院 血液科 神田善伸  獨協医科大学病院 血液・腫瘍内科 三谷絹子  国立がん研究センター中央病院 造血細胞移植チーム 福田隆浩  国家公務員共済組合連合会虎の門病院 血液内科 内田直之  国際医療福祉大学成田病院 血液内科 中世古知昭</p>
<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。  提供方法：紙媒体を追跡可能な方法で郵送</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座  研究責任者：助教 田上 晋（たのうえ すすむ）  電話番号：03-3433-1111（内線 9230）  対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。